

CCET ウェビナー

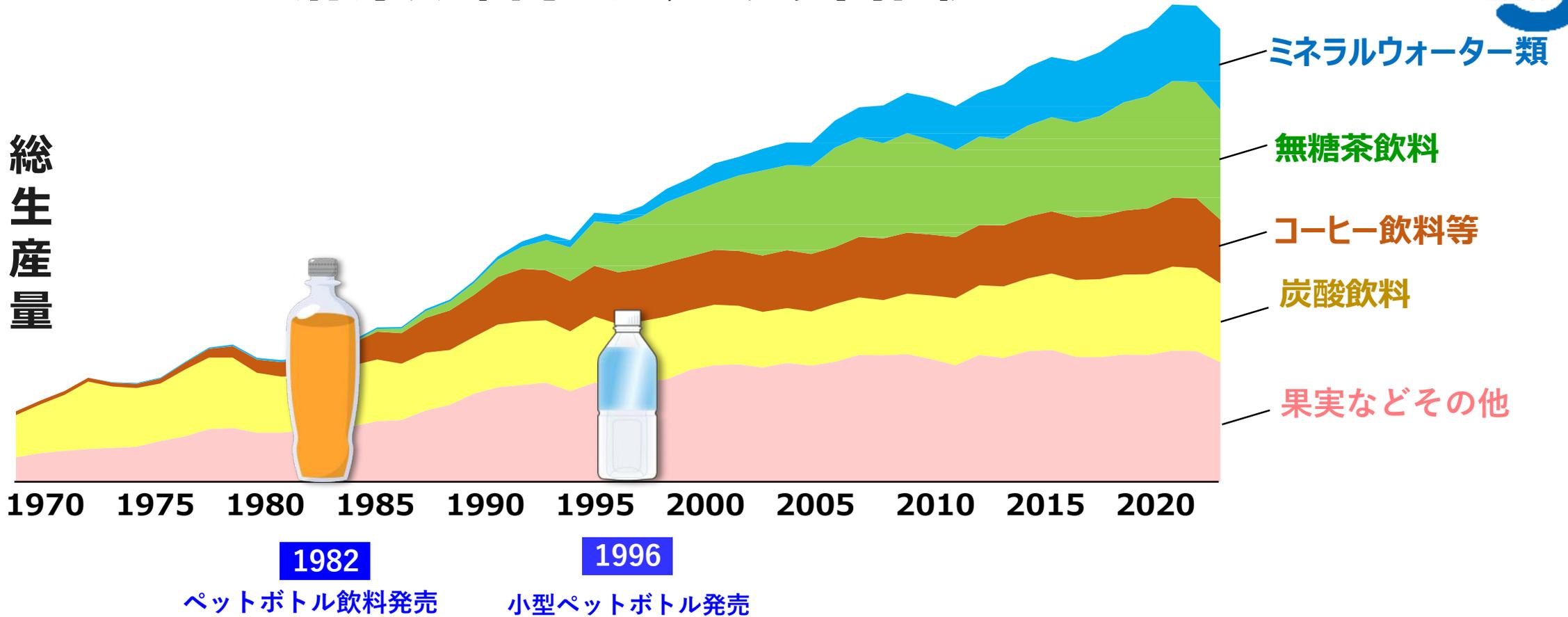
全国清涼飲料連合会 (JSDA)

企画部長
那須俊一

2021年10月5日

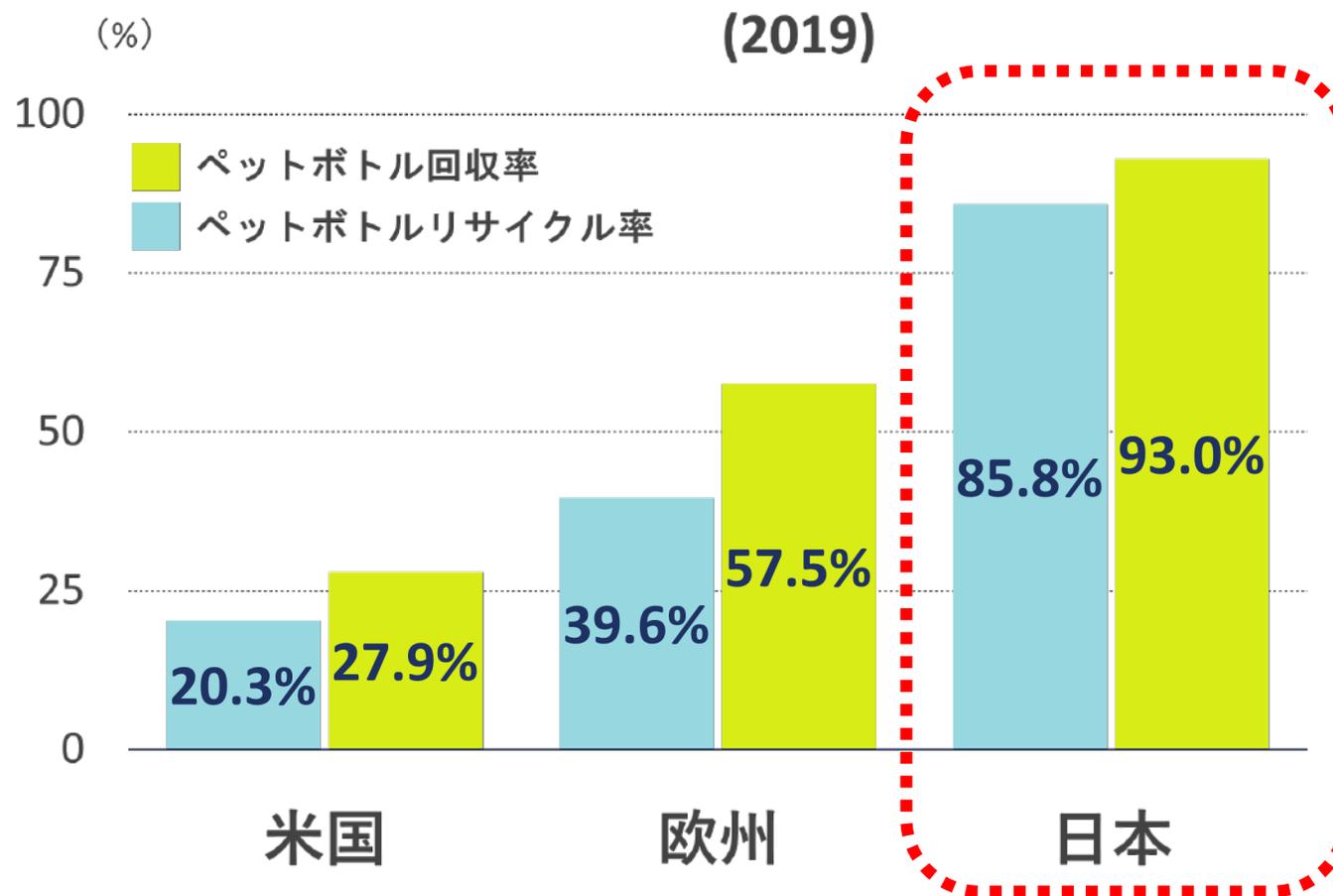


清涼飲料水のマーケット推移



ペットボトルの 飲料内構成比	1996	2001	2020
	25%	50%超	76%

ペットボトルの回収率ならびにリサイクル率では 既に**世界でもトップレベル**



出典)PETボトルリサイクル推進協議会

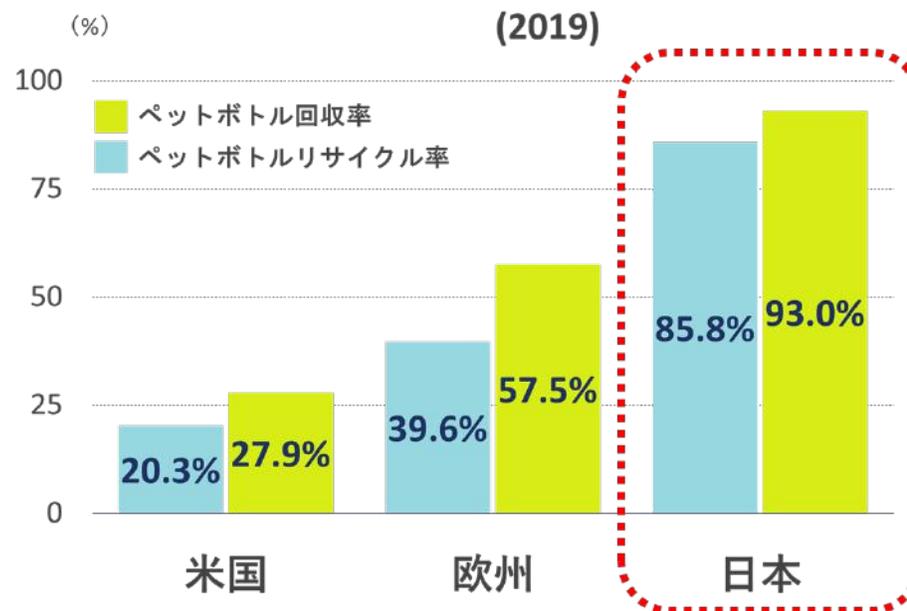
欧州: Wood Mackenzie社 米国: NAPCOR(National Association for PET Container Resources)



もちろん、一夜にしてこれだけの成果を達成したわけではない



ペットボトルの回収率ならびにリサイクル率では既に**世界でもトップレベル**



出典) PETボトルリサイクル推進協議会
 欧州: Wood Mackenzie社 米国: NAPCOR(National Association for PET Container Resources)

環境配慮設計としての自主設計ガイドライン

1992年より清涼飲料業界とPETボトル事業者団体は協働で制定・運営してきた

1992



初版制定

指定PETボトル
の
自主設計
ガイドライン

ボトルはPET単体素材

ボトルに着色はしない

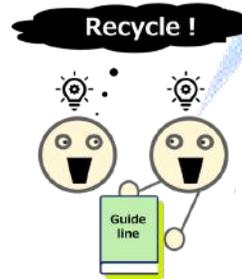
容易に押しつぶせる構造が望ましい

ベースキャップは使用しない

ボトル本体への直接印刷は行わない

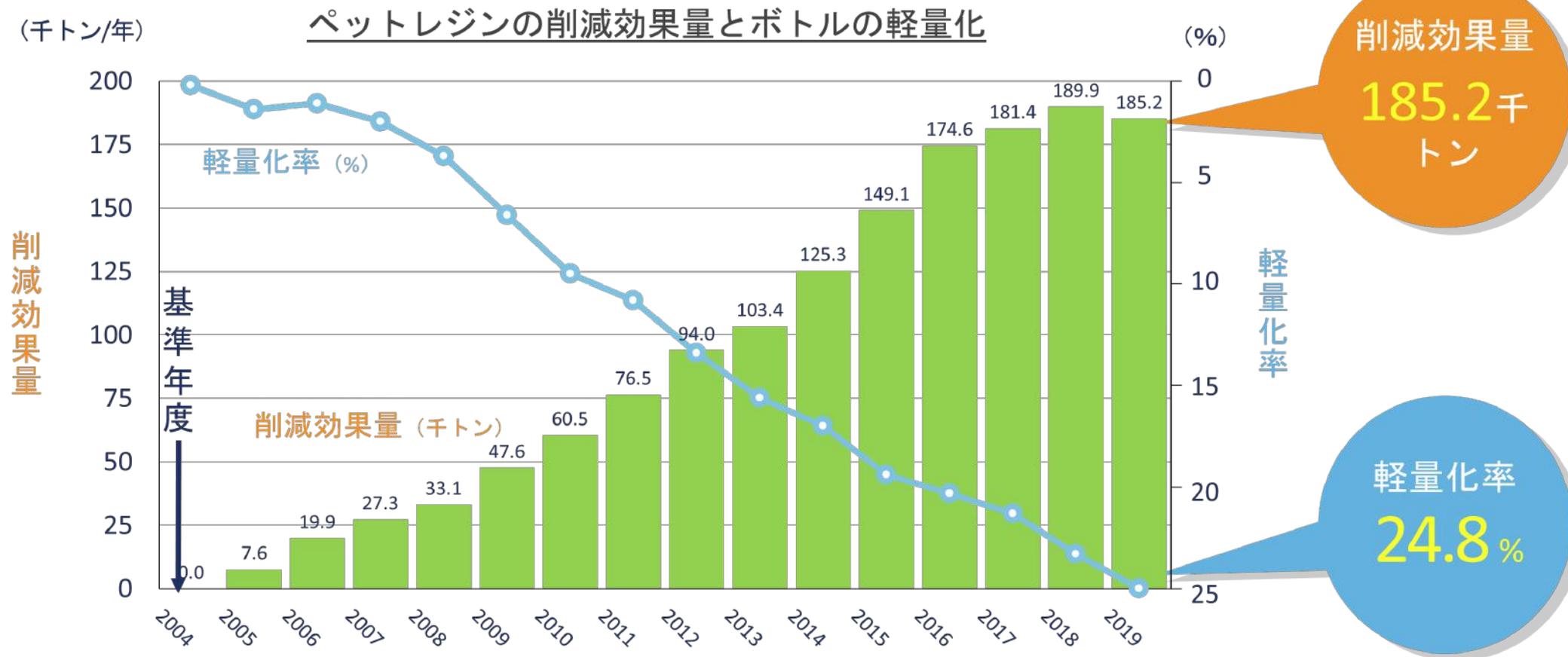
シュリンクラベルである場合はミシン目入りであることが望ましい

アルミキャップは使用しない、 等



すべては
29
年前に
始まった

- ☑ 日本は、リサイクルだけでなく、**リデュース**にも取り組んできた
- ☑ 2004年比で約25%のボトル軽量化を実現してきた

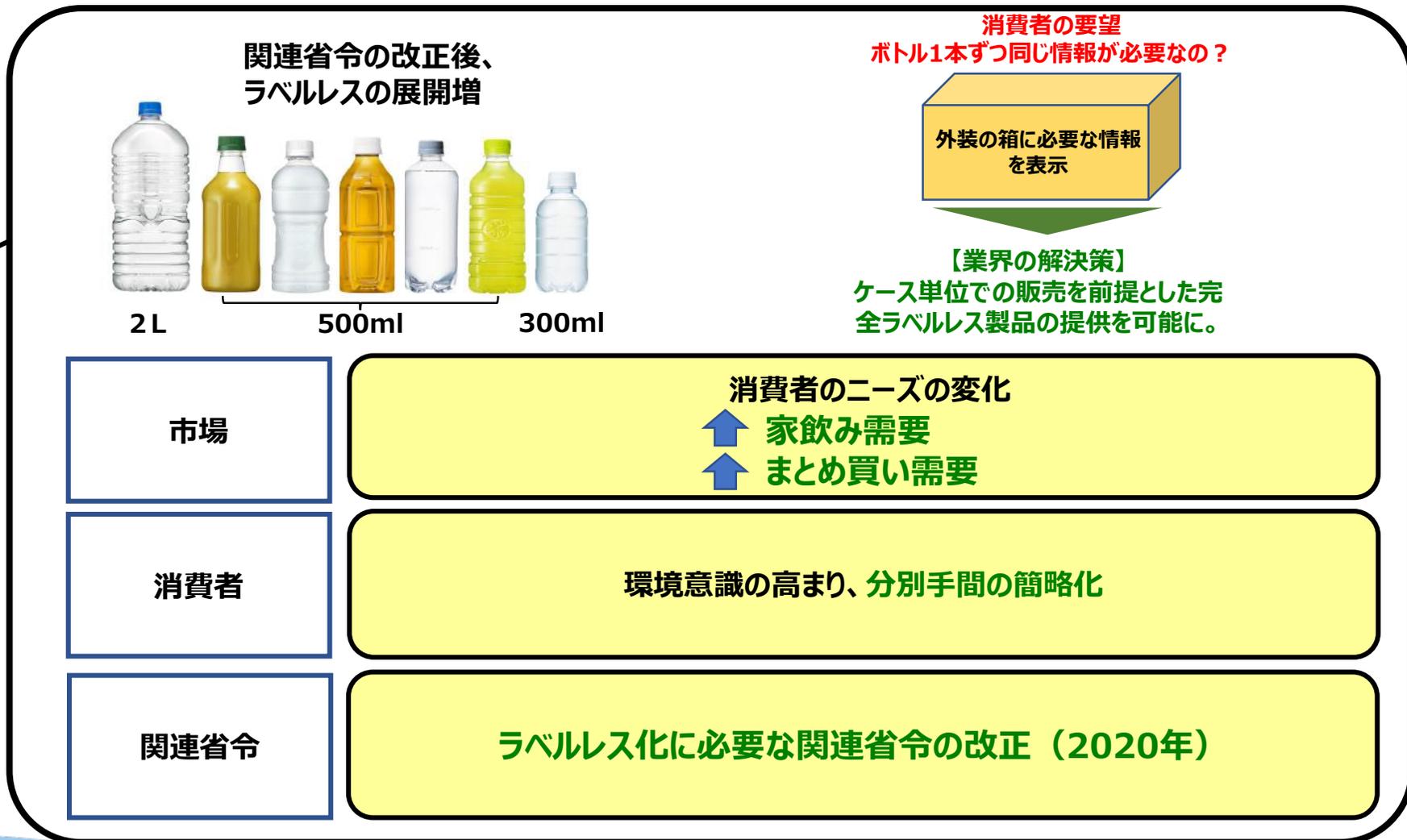
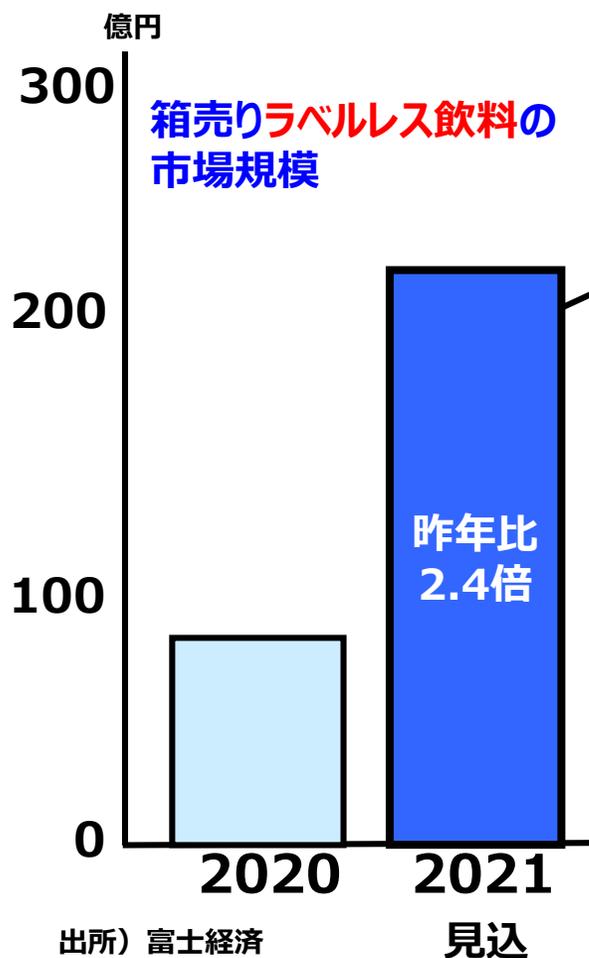


出典) PETボトルリサイクル推進協議会



清涼飲料各社箱売りラベルレスの展開増、2021年の市場は2.4倍

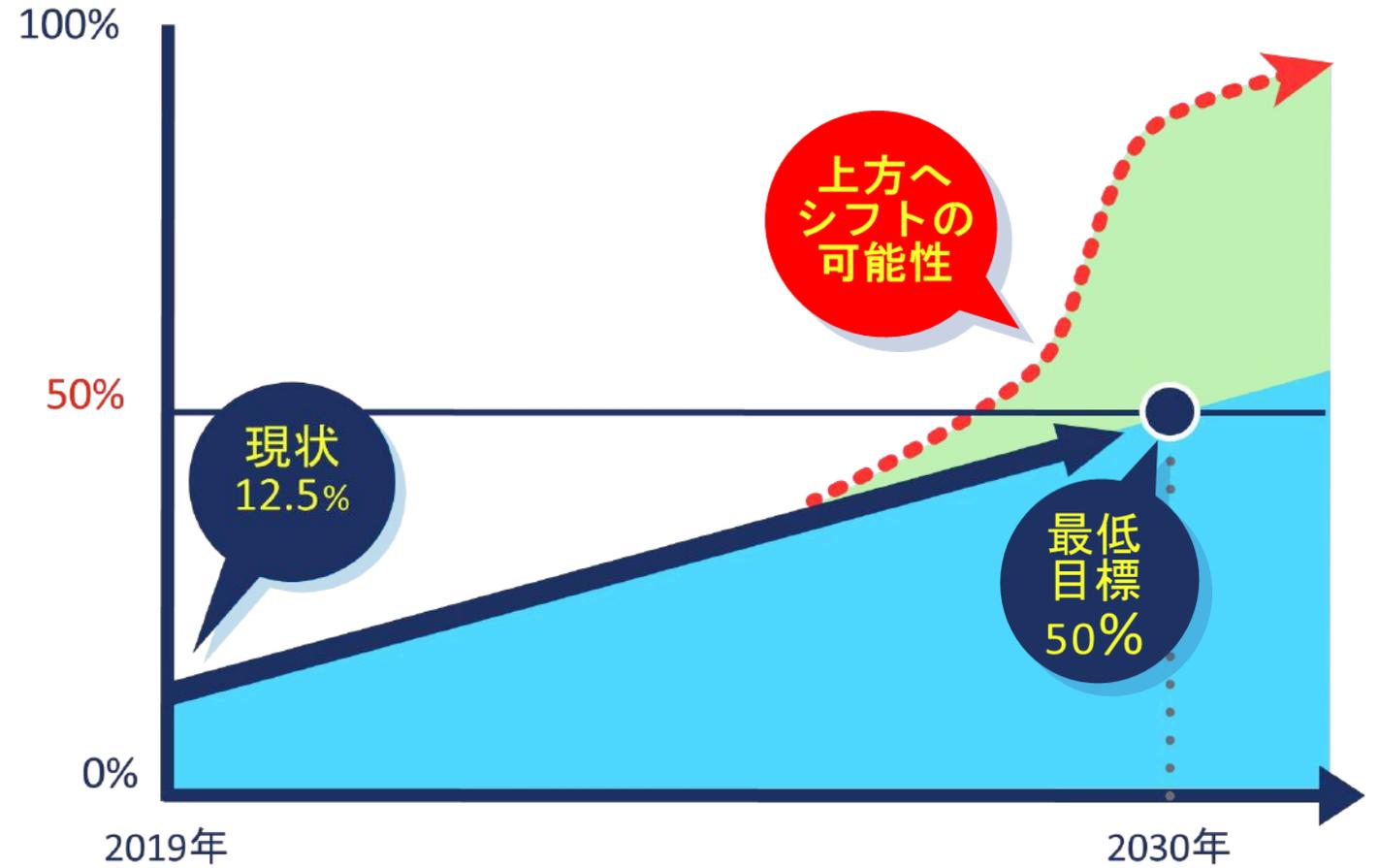
「消費者へのやさしさの提供」「プラスチック削減へ貢献」の両方を実現



- ボトルtoボトルの水平リサイクル拡大に向けた大きな第一歩
- 現時点で無条件でコミットできる目標にコミットする
- 同宣言に「もし」はない
- 以下の技術や経済性が確立すれば、目標を上回ることも期待できる：
 1. マテリアルリサイクルの進歩
 2. ケミカルリサイクル技術
- 植物・生物由来素材の開発により、化石原料の減少が期待できる

2021年4月

2030年ボトルtoボトル比率50%宣言



2030年ボトルtoボトル50%宣言は CO₂削減宣言でもある

現行条件下ですでにCO₂の56~63%削減が期待できる
技術やプロセスが開発されればさらなる削減が期待される



課題は？

目指すは回収率100%だが、
チャレンジも残る

日本では

容器包装リサイクル法により

「役割分担」が明確に定められている

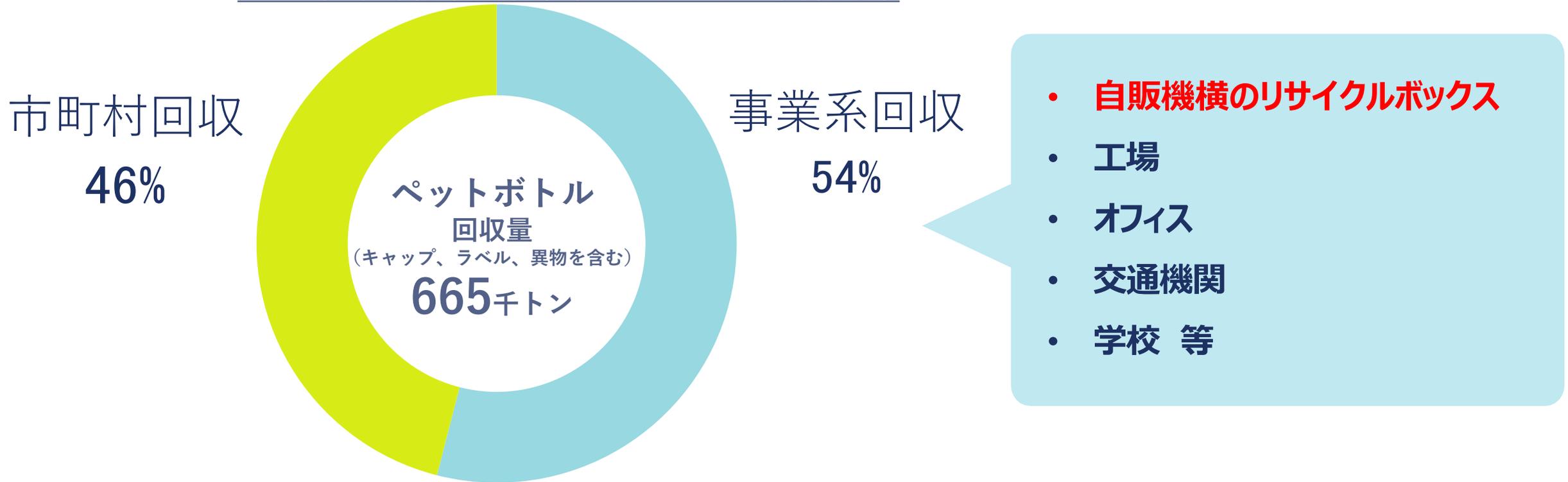
これが今日の回収率93%達成に
大きく貢献した



出典：環境省ホームページ

しかし、事業系ルートによる回収にはなお課題が残る - 特に品質面

2019年 市町村系・事業系ペットボトル回収比率



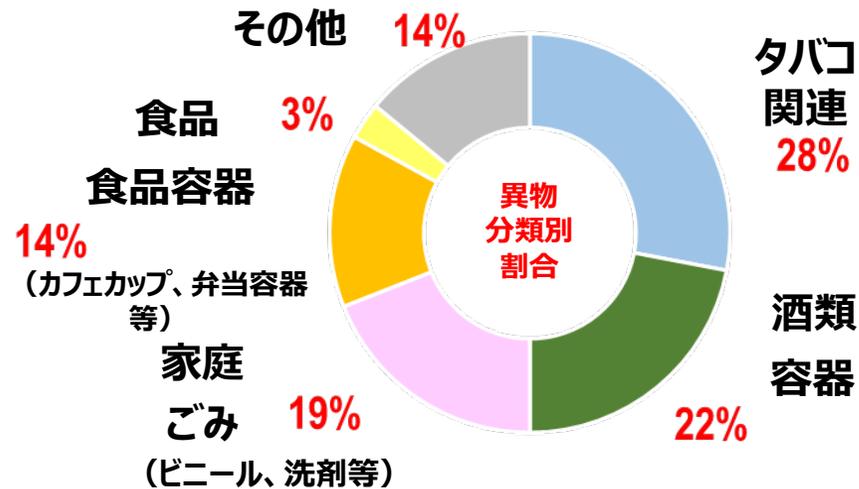
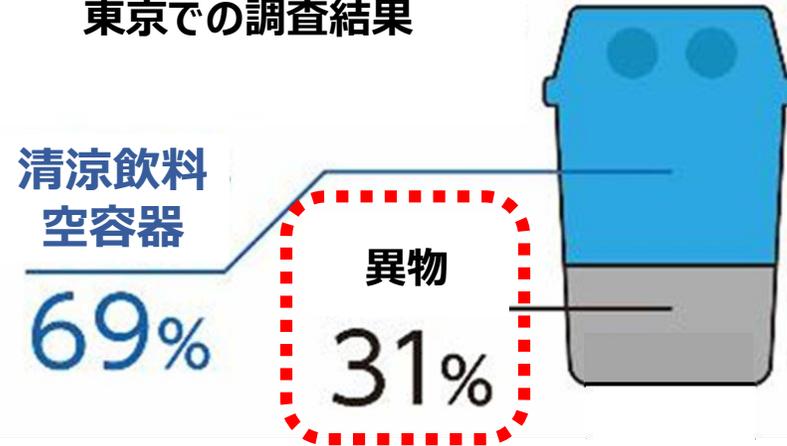
課題の一例

自販機横に設置したリサイクルボックス
の異物混入率：

30%超

- リサイクルボックスが異物で埋まり、
本来の目的である飲料容器回収の
妨げになる
- 回収した飲料容器が汚れることで、
リサイクル工程が非効率的・困難に

2020年
東京での調査結果



リサイクルボックス問題の解決策 ----- いまだ試行段階だが → 異物混入されにくい仕様を採用

SDGs目標11と同じ色にすることで
ごみ箱ではないことをアピール



わかりやすいイラスト

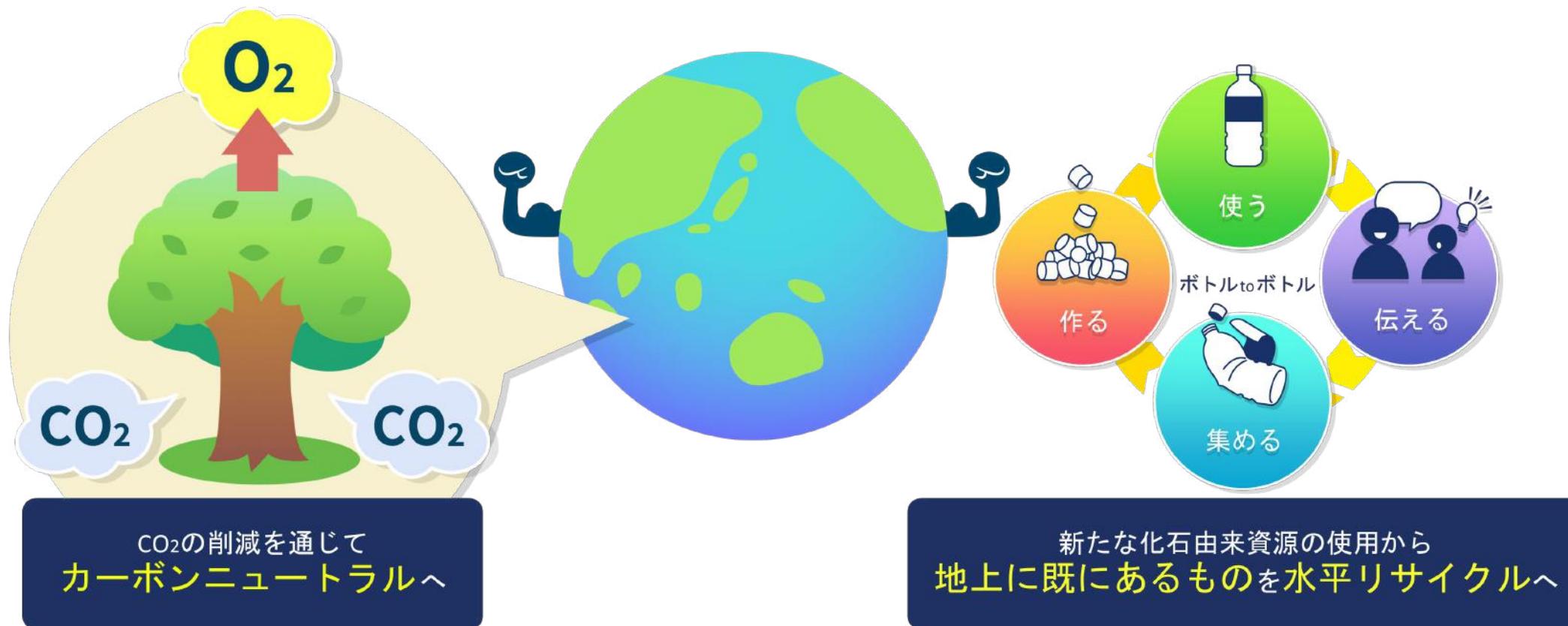


遠くからだと投入口が見えないため、
ごみを投入しにくい

投入口を小さくし、飲料容器以外の物を
投入しにくくした

接合部を強化し、容易にふたを外せないよう
にした

サーキュラー&エコロジカル・エコノミーの世界トップランナーを目指して



EOF

Japan Soft Drink Association



一般社団法人
全国清涼飲料連合会